

## 自衛官募集相談員会の部隊研修を支援

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、5月22日（月）、23日（火）の2日間の日程で、川崎北自衛官募集相談員会の沖縄研修を支援した。

同研修には、山田会長以下13名の募集相談員が参加し、沖縄に所在する海上自衛隊第5航空隊、航空自衛隊第16高射隊及び第15旅団司令部を研修した。

1日目は、当初第5航空隊格納庫において、南西諸島の防衛における海上自衛隊の任務や役割、仕事内容などの説明を受けた後、パイロットから対戦哨戒機の機内を案内され、募集相談員たちは熱心に質問していた。その後、航空自衛隊知念分屯基地に移動して、第16高射隊が保有するPAC-3の撤収要領を研修し、隊員たちのきびきびとした動作に感銘を受けた募集相談員からは拍手が起る場面も見られた。

2日目は、第15旅団司令部にて駐屯地司令への表敬及び那覇駐屯地の概要説明を受けた後、広報資料館において不発弾処理についての説明を受けた。いつ爆発するかわからない命がけの任務であることや、沖縄では今でも不発弾が大量に残っていると説明に、募集相談員たちは非常に驚いた様子であった。

溝の口募集案内所は、「今後も定期的に部隊研修を支援し、自衛隊への理解深化に努めていく」としている。



那覇駐屯地司令の話聞く川崎北自衛官募集相談員



記念撮影の様子



## 「任期制士将来設計教育」で予備自衛官等制度をPR

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、5月29日（月）、30日（火）の両日、海上自衛隊横須賀地方総監部で実施された「平成29年度任期制士将来設計教育（キャリアビジョン設計教育）」に参加し、予備自衛官等制度についての説明を行なった。

本教育は、海上自衛隊の任期制士に対し、将来の計画を立てるために必要な知識を付与し、自己の在り方の確立と能力開発を図る契機とすることを目的に実施されたもので、2日間で85名が参加した。

同地本は、制度広報DVD等を活用して、予備自衛官等の制度や訓練内容などについて紹介するとともに、陸上自衛隊の即応予備自衛官について、海上自衛官も志願できることをスライドを見せながら分かり易く説明した。

神奈川地本では、「今後も、あらゆる機会を活用して予備自衛官等制度の周知を図り、志願者の確保に繋げていきたい」としている。



予備自衛官等制度について聴講する海上自衛隊の任期制士